

ヨーロッパの解放／第1部 クルスク大戦車戦・第2部 ドニエプル渡河大作戦 (1970)

ОСВОБОЖДЕНИЕ
OSVOBODZHDENIE: OGNENNAS DUGA
PRORYV

メディア 映画
ジャンル 戦争
製作国 ソ連
色彩 Color
時間 185分
初公開日 1970/07/11
公開情報 松竹映配

【解説】

ソ連が総力を挙げて製作した大祖国戦争（ソ連では第二次大戦の対ドイツ戦をこう呼んだ）映画。ソ連側の公称で、構想20年、製作年数6年、スタッフ500人、使用フィルム約4万フィート、登場人員約3万人、戦車1万台、戦闘機1千機、大砲150門、ジープ1千台という史上最大規模の戦争映画である。全5部作から成るが、日本では第1部、第2部をまとめて封切った。

スターリングラードで大敗を喫したドイツ軍は、1943年2月、クルスクで攻勢をしかけるべくタイガーを主力とする大戦車部隊を送り込む。それに対してソ連は、ドイツ戦車隊の補給路が伸び切ったところで戦車部隊による反撃を開始。敵戦車の燃料が切れはじめ、ソ連軍は無力となった敵部隊を次々に撃破し、勝利する。ここまでが第1部。つづいて第2部では、国王派に幽閉されたムッソリーニを、ドイツ軍秘密部隊が奪還。一方ソ連軍は、ドニエプル川対岸に強力な防衛線を敷くドイツ軍に対して渡河作戦を敢行。膨大な犠牲を払ったが作戦は成功し、対岸の都市キエフを解放する。こうして東部戦線でソ連が攻勢を見せはじめたころ、ルーズベルト、チャーチル、スターリンはテヘランで三者会談を開いた……。看護婦と将校のサブストーリーを織り交ぜたりはしているものの、単に作戦会議と戦争シーンをつないだだけという印象は否めず、第5部に至るまで一本調子で退屈な作品だ。

【クレジット】

監督 ユーリー・オーゼロフ Yuri Ozerov
脚本 ユーリー・ボンダリョフ Yuri Bondarev
オスカル・クルガーノフ
ユーリー・オーゼロフ Yuri Ozerov
撮影 イーゴリ・スラヴネヴィチ
出演 ニコライ・オリャーリン
ラリーサ・ゴループキナ Larisa Golubkina
ミハイル・ウリヤーノフ Mikhail Ulyanov
イヴォ・ガラーニ Ivo Garrani
フリッツ・ディッツ